

3年「まちの行事について調べよう」で、大城区長さんから話を聞く

3年生は3月12日（火）の2・3校時の時間に、松田区公民館を訪れ、「松田区の伝統行事について」の学びを深めるために松田区長の大城 学 氏から、お話を伺いました。

松田区で2年に一度行われている大きな行事「八月十五夜あしび」について、多くの質問に答えられました。

「八月十五夜あしび」は旧暦の八月十五日に行われ、バンク（舞台）の飾り付けなどの準備は青年会が中心になって行い、踊りや組踊も青年会が演じるのが、松田区の伝統だそうです。踊りなども昔からある形を大切にしており、形をなるべく崩さぬように、伝統として守り引き継いでいるそうです。練習も元青年会の方々为中心となり、教えてくれるそうです。松田区民や各団体（青年会や婦人会等）が総出で行う行事で、演目もバラエティーにとんでいて、県外や海外にも誇れる行事だということでした。大城区長さんも「メーカタ」に出演したことがあるそうです。

子ども達は、これから伺った内容を「松田区伝統行事について」のまとめしていきます。

大城 学 区長さん、多くの質問に丁寧に答えていただき、本当にありがとうございました。



写真7・8 応接室でお話を聞く3年生

写真9 大城区長さんと一緒に

子ども達の感想（お礼文より）

- 「八月十五夜あしび」は旧暦の八月十五日にやることがわかりました。演じる演目もたくさんあることもわかりました。今日は、いろいろ教えていただき、ありがとうございました。ばくも青年会になったら、十五夜あしびの演目をやってみたいです。（3年 とうま かずは）
- 今日は、「八月十五夜あしび」について教えていただき、ありがとうございました。私は、お話を聞いて、松田のでんとう行事にきょうみをもちました。これからもいろいろな区の行事を調べたいと思いました。（3年 じゃはな はんな）

3年生 宮城尚美先生を講師に「そろばんの授業」

3月13日（水）、3年生が「そろばんで数の表し方を知り、かんたんな計算をしよう」というめあての元、宮城珠算教室の宮城尚美先生を講師にお招きし、そろばんの授業を行いました。

大型のそろばんで、そろばんの各部分の名称を教えた後、そろばんの珠をはじくときの指の使い方を教えていただきました。

「1・2・3・4・5・・・」と楽しそうに指定された数字を親指とひとさし指で珠をはじいていました。

子ども達は、実際に指を動かして珠をはじき、そろばんの楽しさを実感しているようでした。

その後、実際にそろばんを使って計算しました。初めてそろばんにふれる子どもも多い中で、宮城先生は子ども達の飲み込みのよさにびっくりしていました。



写真10 講師の宮城先生を囲んで

子ども達の感想（お礼文より）

- そろばんはむずかしいものだと思っていたので、「いやだなあ。計算が苦手だから、どうしよう。」と、考えていました。でも、尚美先生にそろばんを教えてもらおうと、わかりやすく、いがいと楽しくて、そろばんが好きになりました。人間そろばんや読み上げ算など、そろばんにもいろいろなものがあり、「むずかしいけど、楽しい！」と思えるようになりました。尚美先生、そろばんを教えていただき、ありがとうございました。（3年 しまぶくろ りあん）
- 尚美先生、そろばんを教えていただき、ありがとうございました。そろばんには、一玉と五玉があり、それをつかって計算することがわかりました。一の玉をひとつ上げて、五の玉をひとつ下げると、合わせて6をあらわすことになります。おもしろいです。（3年 しげた だいき）